平成３０年度　第２回
川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 中央公民館登録グループ連絡協議会～

日時：平成３０年８月７日（火）
　　午後６時３０分～８時００分
場所：中央公民館

参加者

中央公民館登録グループ連絡協議会　12 団体 14 名

出席者

市長、宍戸副市長、総合政策部長、市民部長、文化スポーツ部長、福祉部長
こども未来部長、産業観光部長、教育総務部長

意見数

分　　類	件数	内　　容	頁
教育・文化・スポーツ	10	・市民体育館の新設 ・さわやか活動館のエアコン設置 ・伝統文化の継承 ・さわやか活動館の駐車場 ・茶室の設置 ・中央公民館分室の修繕 ・中央公民館のエレベーター設置 ・公民館使用料 ・ふるさと塾の運営 ・初雁球場の改修	6 7 7 11 11 13 13 13 14 16
都市基盤・生活基盤	2	・バスへの位置情報システム導入 ・川越シャトルの活用	10 11
産　業　・　観　光	3	・観光 ・小江戸ブランド ・時の鐘の鐘つき人	2 10 16
地域社会と市民生活	1	・防犯カメラの設置	9
住民自治・行財政運営	1	・ホームページの充実	16
その他	3	・公共施設のインターネット環境 ・さまざまなご意見 ・役所の立地	5 8 17
計	20		

意見交換（要約）

《観光》

意見　川越を英語で歩こう会というボランティアガイドの主催をしております。

僭越ながら川越市はなぜ観光地になろうとしているのかという大きな疑問があるんです。といいますのは、自分たちは30年近く、主に川越を訪れる外国人に川越の魅力といいますか、魅力はあまりないんですけれども、いかにその魅力を持たせるかということに力を注いできています。しかし、正直言って川越というのは中途半端な観光地ではないのかなという気がします。それと、川越市民全てが観光地になるということを賛成しているとは思えない。知人からは観光客が増えることですごく迷惑を被っているという意見を随分聞きます。それと、例えば一番街の商店というのもほとんどがいわゆる外資、川越市外の資本であるように聞いています。そうすると観光客が増えても川越市が潤うということはあまりないのではないかなという気がするんです。そういうところで、なぜ観光地としていこうと考えているのかを、まず一つお聞きしたい。

それから、川越市も年間700万人が来ているとか、あるいは昨年は20万人以上の外国人が来たということをとても宣伝しているように見受けられるんですけれども、それによって何を川越市が得られるのかというのがやはりよく見えない。さっき中途半端な観光地と言いましたけれども、例えば神社やお寺を除いて江戸時代の遺構というのが本丸御殿、それから武家屋敷があります。ところがどちらもやはり圧倒的に引きつける何かというのはないんですよね。例えば本丸御殿に行くと、受付にいるシルバーの方が天井を見てください、バレーボールの跡がついているんですよとすぐおっしゃるんですけれども、これはなかなか自慢できるものではないと思うんです。私が知る限りあの長い廊下はいわゆる江戸城の松の廊下のように絵が書かれた杉戸がずっとはめられていたと。ところが今はそれが違う場所にあると。だからせっかくあれだけ立派な廊下があるんだから、そこをもう少し魅力あるものに変えてみるということも一つではないか、これはちょっとお金がかかりますが。

それから、武家屋敷もやはり魅力はあまりないですね。せめて屋根を昔のような藁葺きにすれば、また少し魅力が出るかもしれません。毎週土曜日に開放ということで庭を歩くことはできますけれども、それだけでここが武家屋敷だというふうな何か魅力というものが全くない。だから、せっかく市が持っているものを十分に活

かしきれてないのではないかという気がします。

それとあとは、旧山崎家別邸もそうです。去年、旧山崎家別邸の館長にＡ３にずらずらと要望を書いて渡してありますけれども、やはりただ入って勝手に見てくださいという感じなんです。だからもっと何か惹きつけるものというのがあるのではないかと。例えば廊下に座ってあそこでお茶を１杯飲みたい。できれば亀屋さんの最中でもいいですけれども、これ当然有料で。やはり川越に来たお客さんでフランス人の方が、日本に行ったらぬれ縁でお茶を飲みたい、そういうふうに本当にピンポイントの目的を持ってくる観光客が多いわけです。だからそういうことは可能ではないかなという気がします。

今一番やってもらいたいことというのは、時の鐘を人間がつく、鐘つき人がつくことです。実は昨日ＮＨＫのＥテレの撮影があったんです。そのときに12時少し前に時の鐘に行っていたら、やはり観光客数人が時計を見ながら集まってきたんです。中には５、４と数えて12時になったら「鳴らないじゃんか」と。ちょうどに鳴らないんです。これご存じですか。12時に鳴らない、正確に計ってはないですけれども、30秒ぐらい遅れて鳴るんです。鐘の音もあまりきれいではない。だからやはりそこにいた人たちが何だこんなものかいと言っていました。すぐ６回鳴るんですけれども、１回聞いたらいなくなってしまう。正時12時に鳴らないというのはこれはとてもはずかしいことです。何でかといったらいわゆる酒井忠勝さんという時計のような正確な人があそこに時の鐘を建てさせたわけです。江戸城ではその忠勝さんの動きを見て城内の大名たちが時を知ったというふうな逸話がある人なんです。ところが12時ぴったりに鳴らないといったらもうこれは恥ずかしいです。だから、まずこれ鳴らさなくてはいけないと思うんです。そして、昔の鐘つき人のような装束を着た人間が上がっていって、正時に鐘をつくということをすると、これはただで全国放送で宣伝になると思うんです。これは観光客を集めるばかりでなくて、川越市民にとってもそれでは見てみたいなということで盛り上がりがあると思うんです。当然第１号は川越市長がなさるということを要望します。

市長　いろいろご意見を頂戴しましてありがとうございます。

なぜ観光地になろうとしているのかということですが、少なくともなろうとしているという表現がいいのかなというややそういう疑問もあるんですが、既に観光地になっているというので、市としてはこれをぜひ維持、拡大していきたいという思

いを持っています。

それはなぜかというと、やはり観光も産業の一つとして捉えておりまして、やはり地域の地元の産業の振興であるという捉え方をしております。例えば地方の伝建地区を持っているようなまちへ私も幾つかお邪魔したことがあります。やはりすばらしいまち並みがある地域であっても、人影が本当にまばらという状況がございます。さらに、観光資源を持っていない地方のまちというのは本当に今大変な思いをしているところが多くございまして、それに比べれば観光という形であっても大勢の人が来てくれて、まちににぎわいが出るというのはとても市にとってプラス、市民にとってプラスであると捉えております。したがって、できるだけこの観光も伸ばしていきたいというふうに考えております。

確かに中途半端と言われれば中途半端かもしれませんけれども、それはもうにぎわいがないよりはあったほうがいいという、簡単に言えばそういう捉え方で観光をさらに伸ばしていこうと考えております。

何が得られるのかと言いますと、にぎわい、まちの活性、活気がやはり大変重要であると考えておりまして、観光を伸ばしていくことによりその活気がさらに高まっていくという、そういうものが得られると考えております。

個々の観光スポットの本丸御殿や武家屋敷のご意見については、大変参考になる意見ですので、その廊下の問題であるとか、旧山崎家別邸でお茶を出すというようなことにつきましては、貴重なご提言をいただきましたので、検討をさせていただきたいと考えております。

あと時の鐘については、時間ぴったりに鳴らないというのは初めて聞きまして、これはもし事実であればそれは是正したいと思っておりますので、早速調べて対応したいと思っております。

あと時の鐘を人がつくという点については、ご覧になっていただけばわかりますように、かなり急なはしご階段のようなところを10何メートル上って鐘をつくというのは、元気で若い人でないとなかなかできないことで、元気で若い人を常に確保して雇っておくというのもなかなか難しい面がございまして、一応これも検討課題にさせていただきたいと思っております。

《公共施設のインターネット環境》

意見　ＰＣサポート川越と申します。公民館でのパソコン講座、それからこども家庭課の就労支援の講座で講師をしております。講座では文書の作成や表計算などをやってきているんですけれども、毎回アンケートをとりますと、インターネットに関していろいろ興味ある方々が大変多いんです。その関連の仕組みですとか、活用に関する講座の要望がすごく多く見受けられています。インターネットの有用性と申しますと今さらの話ではないんですけれども、一般的に言いますと興味があるもののセキュリティなどがあって手を出しかねている方がまだまだ多いようなんです。

私どもでは会員10数名で、研修会というのを年に何回かやっております。その中で４年前には公民館の担当の方にお願いしまして、情報統計課の方に「川越市の情報化について」というお話をしていただきました。そのときホームページに関する工夫とか、川越市のサービス、セキュリティの関係とかいろいろな話を伺いました。こういう話というのは一般の方にもっとＰＲしたほうがいいんではないかというのを一番に感じたところです。せっかくこういう工夫をしているとか、わざわざ出張所に行かなくてもネットでいろいろなものがとれるとか、そういったことを一般の方はなかなか知らないということで、その辺のＰＲは非常に行うべきと痛感しました。私たちのほうでもインターネット関係の講座を開催できないか検討中ですけれども、一番ネックになるのがＷｉ－Ｆｉの環境です。南公民館ではちょうどウェスタ川越の関連で使えるんですけれども、そのほかの公民館ですと自分たちで用意しないとだめなんです。こういうネット環境について今から15年ぐらい前、平成13年にＩＴ講習というのが全国的に行われまして、川越市でもかなり実施されました。そのときの担当された方が、無線環境で苦労されていたのを見ていて大変そうだなと実感しました。そのときは15年前ですけれども、そういう中で無線環境をつくってインターネットへつないでネットは見たし、それからメールも見たし、それから文字もつくる、文章もつくって、いろいろなことがされていたんです。それからもう15年も経っているんですけれども、今の現状ですと川越市の回線がそのまま自由には使えません。特に今の番号制とか暗号制があってセキュリティがかなり逆に強くなっているということで、そういう環境がないんです。ぜひその辺をうまく今の技術を利用して、入っている回線を一般の方も使えるようにすれば、そういった講座もできて、川越市のホームページの有用さなどもＰＲできますし、一般の方もそ

の公民館等に来れば、自分でタブレットとかそういうのを持っていれば、簡単に情報の収集もできるということになります。ソフト面ではかなり工夫されているとは思いますが、そういったハード面に目を向けていただいて情報化の促進をしていただきたいなと思っております。

市長　ご指摘のように川越市の公共施設はまだまだインターネットに接続できる環境が整ってないところがほとんどでございまして、一つの課題であるとは思っております。これについては常時Ｗｉ－Ｆｉ環境を整えるというのがいろいろな面で難しければ、聞くところによればレンタルで一時的に例えば機械を持ってきてそのときだけインターネットにつなげられるようなそういう環境をつくるということもできるというふうに聞いております。皆さんがパソコンの勉強をするときに一時的に利用できるようなものを導入できるかなどについても検討させていただきたいと思います。

《市民体育館の新設》

意見　山吹卓球クラブです。卓球でこちらの公民館を使用させていただいていますが、人気でなかなか練習日というものが取れないんですよね。卓球の場合は卓球連盟というのがありまして、その下にレディースというのがあるんですけれども、レディースの試合も講習会も全て総合体育館に行かなければなりません。それも２分の１を借りてやるんですけれども、私たちみんな結構年齢がいっているんです。だから、そういうところは遠くて利用できないものですから、前に市役所の隣にあったような体育館をまちなかにつくっていただけたらいいなというのが、クラブの皆さんの要望です。

それとあとは、医療保険も後期高齢者保険も結構削減できるんではないかと思うんですよね。皆さんが気軽に行って体操をして、保健師さんが１人いらしたら血圧を測ってアドバイスいただいて帰るようなそんな行事も増やしていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

市長　おっしゃるように楽しく体を動かすということは、健康増進につながって医療費削減につながるということは重々承知しております。いろいろな形でスポーツを奨励するとともに、今おっしゃったようなスポーツができる環境を整えていきたいと考えております。

市民体育館につきましては、用地は一応確保しておるんですけれども、いろいろな事情で建設が遅れているという状況でございまして、できるだけ早く実現するように努めてまいりたいと思います。

意見　よろしくお願いいたします。

《さわやか活動館のエアコン設置》

意見　ＫＷスポーツダンスクラブと申します。私たちは、中央公民館内でなく、さわやか活動館を利用させていただいています。あそこが中央公民館の分室ということでありがたく、私も霞ケ関東に住んでおりますので、近くて本当に便利に使わせていただいています。以前は学校給食センターですので、改装していただいて本当に市民の皆様が集える場所としてありがたく思っております。

ただ、おかげさまで皆さん練習は一生懸命なんですが、この夏は特にですが、エアコンがないんですね。それで講習会なども高齢者が結構いらっしゃるので、この間もちょっと頭が痛いとかありまして、すぐに帰らせたんです。冬の暖かいのは大丈夫なんですが、できればエアコンだけ入れていただけたら、非常にありがたいなと思います。

市長　この夏の暑さを考えたらエアコンはぜひ必要だと私も思いますので、前向きに検討させていただきます。

《伝統文化の継承》

意見　川越シニア大学「小江戸塾」と申します。中央公民館と伊勢原公民館で日本の文化を伝えるといいますか、年中行事で伝承の正月の餅つきやお雛様、節分などをやっています。こういうことは、中央公民館とか伊勢原公民館だけでなくて、学校とか地域でもやられているところもありますが、あまり定期的にやられていないというのが現状だと思います。だから、川越市全体として何かそういうものを子どもたちに伝えていくということもできたらという意見で、参考として検討いただけたらと思います。

それから、川越まつりですけれども、以前に博物館で子どもたちを募って山車引きの体験などやっており、私も博物館の市民ボランティアとして子どもたちの付き添いで山車引きの体験やったことがあります。子どもたちに伝えるという意味では

そういうのもやられたらどうなんでしょうかねという意見であります。

それから、自然との触れ合いというと、今学校では危ないというのが先立ちまして、川遊びとかそういうものがなかなかできない状況であります。私ども伊勢原公民館で小畔川でいかだを浮かべて、子どもたち乗せて五、六十メーター川流しをして、川の中でさかのぼったりという活動もしております。危険も心配ですけれども、安全管理を十分にしてやれば非常に楽しめます。川越には自然もまだかなりありますので、子どもたちにそういう体験をさせてあげたいなと思っています。今後の中で検討していただければありがたいと思います。

市長　幾つかご提案をいただきまして、これは検討させていただきたいと思いますが、２番目の山車引き体験については、川越市が持っております猩猩の山車については、毎年お祭りのときに山車を持っていない町内の子どもたちに引いてもらうというようなことをやっております。それ以外にも山車を引く人が足らないという町内も増えてきておりまして、ほかの町内から人に来てもらっているというところもありますので、山車保有町内協議会等に働きかけをしまして、希望のある子どもさんには山車引きに参加できるような仕組みもつくっていきたいと思っております。

《さまざまなご意見》

意見　本日欠席されているグループの意見も紹介させていただきたいと思います。

まず、川柳会から喜多院の菊まつりについて、主催している団体の会員の方もかなり高齢になっていまして、今後組織の存続が心配だという意見もありました。この辺は会員の皆様で努力されていると思いますけれども、そういう伝統的な観光にもある程度直結するような問題もあると思うんです。そういうのも頭に入れておいていただきたいというふうな意見でありました。

それから、おいせ橋の自然観察。小畔水鳥の郷公園とかありますけれども、この辺を今後も自然観察の場を増やしていただきたいという意見もありました。

それから、椿の会のほうで、設備関係のことでエレベーターの設置や畳の問題も出ていました。今後の予算関係もあると思いますので、これも検討課題にしていただきたいというふうに思います。

それから、天文同好会のほうは、外国人が多いので言語表記を増やしてほしい。外国の方もかなりみえられていますので、まちなかの案内を増やしてはどうかとい

う意見がありました。

あとは来客数が多くなったので、災害設備等をよく検討してほしいという意見もありました。

全体として以上のような意見であります。

市長　外国人が増えてきたので、外国語での表示をという件については、市のほうも特にオリンピックを控えて順次多言語、何種類かの言葉で表示をするように少しずつ変えつつあるところでございます。今いろいろなところの案内表示は多言語表示になっていると思います。さらに足らない部分については順次増やしていきたいと考えております。

菊まつり等へは、あれはその団体さんが主催されているんですか。あれは市の主催ではないんですよね。ですからああいう伝統的な日本の良さを伝えるような行事や事業は、ぜひ長く続けていってもらいたいので、行政のほうも応援していきたいと思っております。

それから、いろいろご提案いただきましたことを、すぐには難しいかもしれませんが、検討の上、実現できそうなものから実現していきたいと思っております。

《防犯カメラの設置》

意見　フォトクラブからの意見です。市街地の主要部分で今いろいろな事件が起こっていますけれども、防犯カメラの設置等についてはどのような進め方をされているんでしょうか。

市長　防犯カメラについてはいろいろなご意見がございまして、確かに犯罪の抑止、あるいは犯罪が起こったときに犯人を特定するのにすごく有効であるという面があります。一方、プライバシーを侵害されるのではないかという懸念を抱く方もかなり大勢いらっしゃるので、市として特にどんどんと防犯カメラをつけましょうというような働きかけをしてはいません。ただ商店街さんなどでは防犯カメラを増やしていこうという考え方の商店街が結構ございまして、商店街、あるいは自治会を中心に防犯カメラを自分たちの地域につけるということが結構増えています。市のほうはプライバシーの問題等もあって、その防犯カメラの運用に関して基準をつくりまして、こういうのを守ってくださいねというようなことを防犯カメラをつけようとしている団体さんに働きかけをしています。それが防犯カメラに関する現状です。

《バスへの位置情報システム導入・小江戸ブランド》

意見　小江戸塾パソコンクラブです。ざっくばらんな思いつきで申しわけないんですけれども、今シャトルバスとかいろいろなバスが走っていますよね。例えば、ＧＰＳのついたスマホなどを自分の子どもに持たせてグーグルマップと共有をしていれば、自分の子どもが今どこの道を歩いているかというのがわかる、そういうシステムがあります。それを利用すれば今バスがどこまで来ているかというのがわかるんではないかなと。運転手さんがＧＰＳをグーグルのアカウントでオープンにしていれば、グーグルマップを利用して、バスが今ここに来ていることがわかるのではないかと、これ思いつきです。

それから、川越は小江戸というブランドがありますよね。そのブランドをもっと活かしたらどうか。例えば、この皆さんが勉強されている川柳とか俳句、お店の人が着物を着て江戸時代の雰囲気を醸し出している、それはまたそれで非常におもしろいなと思います。ああいう俳句とか川柳のコンテストを市が主催でやってもおもしろいのかな、活気が出てくるのかなと思います。もっと小江戸というブランドを打ち出してもいいのかなと思うんです。せっかくの全国的なイメージ、先ほど観光の話がありましたけれども、やはり日光、鎌倉、川越、関東における文化資産、遺産というんですか、歴史的遺産、それはその三大観光地に負けていないものを川越市は持っていると私は思っています。したがって、もっともっと良さを活かして徹底してやってもいいのかなと感じております。

市長　バスの位置についてわかるようなシステムの導入ということですが、バスについては、シャトルバスを除いて民間事業者の経営になっておりまして、民間の皆さんは費用対効果を常に考えられます。そのため提案をすることはやぶさかではございませんが、なかなか実現は遠いような気がします。可能性があるとすれば、バス停において全部の行程の中の今いるあたりがわかりやすいような、そういうシステムは比較的導入しやすいのかなという気もしますので、そういうことをやりませんかということはぜひ民間のほうにも言っていきたいと思っております。

あと、川柳とか俳句、あるいはそういう伝統的な文化の会を市が運営するのはどうかというご提案であったかと思いますけれども、今のところはそういう文化活動についても行政側はお勧めをするほうで、民間の任意の団体の方にやっていただいているというのが現状でございまして、こちら側が俳句会を主催するとか、いろい

ろな芸能の会を市が主催をするというのはなかなか難しいのかなという気はしてはおりますが、検討はさせていただきます。

それと、小江戸ブランドについて、小江戸という名称は今大いに市のほうでも使っているところですが、さらにこれを全国に広げていくための努力は続けていきたいと思っております。

《さわやか活動館の駐車場》

意見　さわやか活動館を利用させていただいておりますが、あそこの駐車場をもう少し広くなりませんかといつも思うんです。どうでしょう。

市長　スペースとして現状どのくらいあって、広げる余地があるのかどうかを調べた上で検討させていただきたいと思います。

《茶室の設置》

意見　お隣の鶴ヶ島市の中央図書館には茶室があるんです。あんなのもいいのかなと思って。予算が関係していますので、なかなか言えないんですけれども。

市長　お茶をやるための釜を置くところですか。

意見　そうではなくて、自動販売機だけ置いて、利用者さんは喫茶室のほうで休む。人はいませんので、人件費はかかりません。

市長　そういうご趣旨ですか。では検討させていだたきます。

《川越シャトルの活用》

意見　ＰＣサポート川越です。ちょうど川越シャトルバスの話が出て思い出したのでお願いしたいんですけれども、ヤフーを見ていますと路線情報というソフトがありますよね。どこかへ行こうとするときに駅名を入れて何時に行きたいとかやると簡単に出てくるんです。ところがこれに、駅だけではなく川越シャトルバスの停留所も何個か登録されているんです。ですから、シャトルバスの停留所とか時刻表も一緒にあれに入れれば川越シャトルもすごく有用に使えるようになると思うんです。そういうのだったら働きかけでいいんではないかと思いまして、非常に便利です。高階市民センターとか何点かは登録されているんですが、全然気がつかなかったんですけれども、埼玉コミュニティバスで登録されているので、登録されてないとこ

ろも全部入れていただければ大分便利だと思うし、シャトルバスのＰＲにもなると思います。

市長　ご提案として検討させていただきます。ありがとうございます。

意見　私は石原町に住んでいるんですけれども、石原町からは川越駅行きのバスは多いですが、川越市駅には行きにくいんですよね。それで川越市駅に行くには川越シャトルが結構人気で、皆さん利用し始めたなと思って、そしてちゃんと時刻表まで場所に立つようになっていたんですよね。それがもう今１日３本なんですよね。朝８時とお昼ごろ１本と全部で３本なんです。せっかくみんなが乗りなれて結構混んでいたんですけれども、３本になったら時間も合わないし、通している割には利用頻度が本当に少なくなったなと思うんですよね。ぜひもう少し本数を増やしてほしいなと思います。

総合政策部長　シャトルバスについては、おおむね５年に一度ということで見直しを行っております。見直しに際しましては、乗降調査といってどの路線のバス停から乗った人がどこでおりるとか、そういった調査を１週間かけて行って、大体１日どのぐらいの人がそこを利用されているか、そういった形での調査を行います。そして、それに基づいて審議会でそういった情報をお出しして、路線の数をどうしていきましょうか、路線を変えていきましょうか、あるいは本数をもうちょっと多くしましょうかなどを検討しております。ぴったり５年というわけではありませんが、おおむね５年ということです。そうしてこの４月から新しい路線がスタートしました。

シャトルもそうですし、民間の路線バスも含めてなんですけれども、やはり人口が減少していると、言ってみれば生産年齢人口の方も減っていると、そうなるとバスを利用する方というのがやはり総体では減っていってしまいます。バス事業者さんに言わせると一月に１回、あるいは一年に１回でもご利用いただければ、バスの今あるところも、廃止とかそういうことはなくて、維持できるということもございます。そういった面でシャトルバスは路線バスを補完するような役割をしております。また５年になるのか、あるいはもうちょっと短くなるかは別として、見直しの際にはそういったご意見をまたお寄せいただければ、所管の部署で検討していくということになろうかと思いますので、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

《中央公民館分室の修繕・中央公民館のエレベーター設置》

意見　囲碁同好会です。もう私30年ぐらい囲碁をやっているんですけれども、中央公民館の分室、あの建物はかなり古いんですよね。それで古いのはいいんですけれども、私は囲碁ですから、碁石とか碁盤はどうしてもあそこに置かせてもらっているんです。裏の奥に６畳間ぐらいの部屋があるんです。それが床が抜けちゃっているんです。それで危ないんですよね。結構高いんです、床から。それで私も１回自分でベニヤ板を持っていって直せないからはがして上に置いて、抜けちゃっているんです。私たちだけが使っているわけではなく、ほかの人も使っているんです。26年間使用料もずっと払っていますので、できたらそういうところの補修、大したものでなくていいですから、やってもらえるといいかなと。

それともう一つ、ここ（中央公民館軽体育室）３階なんですよね。ちょっと金がかかると思うんですけれども、高齢者が多いので、エレベーターをつけてもらいたい。北公民館は２階でもエレベーターがあるんですよね。金がかかると思うんですけれども、つけてもらったら皆さん助かると思います。

市長　中央公民館の分室の床が抜けてしまっているというのは調査の上、対応させてもらいたいと思います。

それから、ここのエレベーターの話ですが、実は８年ぐらい前に検討をしました。検討しましたけれども、今のつくりだと技術的にできないということでした。結局エレベーターをつけるとしたらこれを建てかえなければならないという状況ですので、その辺についてはご理解をいただきたいと思います。

意見　外につけるのはだめなんですか。

市長　外につけるという方法もないことはないと思いますが、どこから入るかという問題もあります。たしかそのときに外づけはどうだというようなことも検討したような気もするんですけれども、それは無理だねということになった記憶がございます。ご理解いただきたいと思います。

《公民館使用料》

意見　私たち公民館活動で使わせてもらっているんですよね。私は使用料を払ってここも使っているし、北公民館も使っています。しかし、かがやき学園はただで使っているんですよね。それでかがやき学園と公民館活動との関連というのがよく

わかりません。要するに、かがやき学園のほうは優遇されているんです。私たちの公民館活動のほうが優遇されてないんです。不公平だと私は思います。これは要望ですから、市長さんのご返事は要らないんですけれども。

中央公民館長　かがやき学園は公民館主催の事業なので、基本的に使用料はかからないということでご理解いただけますでしょうか。ほかの登録グループの皆さんは使用料をお支払いしていただいているんですけれども、かがやき学園については公民館の主催という形なので使用料はいただいてないということです。

《ふるさと塾の運営》

意見　私は小江戸塾のふるさと塾運営委員会を担当しております。一つは切実な問題でお願いがございます。一つは長期的なお話でございます。

切実な問題と申しますのは、ただいま当年度のふるさと塾の講座を開講しておりまして、文化芸術振興課さんのご協力のもと順調に運営はされております。しかしながら、来年度の講座日程の企画がすでに始まっておりまして、プログラムをつくり始めておるんですが、残念なことに会場の使用を月次やまぶき会館さんのＢ・Ｃ会議室を使わせていただいておるんですが、このＢ・Ｃ会議室が一般の方と同じように毎月月初めに翌年同月の前月分の予約を抽選でしなければならないというような事態に陥っています。そうしますと、本年度作成して来年にはもう募集要項を出してプログラムも公示しなければならないんですが、それが今できない状況になっております。行政のほうからそれは無理だというお話しだったものですから、来年の７月分については８月１日に担当者を出しまして抽選に行かせて偶然当たりまして取れましたが、これは来年までずうっと続くということで、プログラムの編成に難があると、これがまず第１点でございます。

第２点が今受講生の皆さんから年額で5,000円の会費を頂戴いたしまして、30数名の方に来ていただいております。受講生からいだたくお金が16万円か17万円前後、総費用が大体37万円から40万円ぐらいの間なんです。その37万円のところの補助を提案型提携事業で私たちの先輩が３年間お世話になったことがございまして、その後何年か経って再度申し込みましたところ、これはもう一度済んでおることだからおたくには権利がないというようなことだったらしくて、これは平等の原理からいってそれはやむを得ないのかも存じません。

ただ、このふるさと塾が始まったものの当初、川越市さんがもともと主体になって始めた事業でございまして、それを手前どもがサポートしているといいますか、企画運営をしていくという流れでやってきた事業でございますので、今現在は小江戸塾から不足分の20万円強につきましては、出していただいておりますけれども、これを何とか川越市さんの主催で手前どものほうが企画運営、あるいは協賛をさせていただくような形にしていただければありがたいなというふうに考えているところでございます。なかなか難しい問題だと思いますけれども、ひとつお考えいただければありがたいなと思います。

市長　やまぶき会館が抽選でないととれないという点とそれから補助のようなもの、あるいは市の主催にというご意見だったと思います。

なかなか正直言って難しいと思います。特に提案型の共同事業はたしか回数制限がございまして、なるべく広く大勢の方にご利用いただけるようにということで制限している面がありますので、ずっと続けてというわけにはいかないというのはご理解いただきたいと思います。

市のほうで引き取ってもらいたいという点についても一応検討はさせていただきますけれども、なかなか難しい面があるかと思います。

意見　和光市にはサンアゼリアというホールがあります。それから、所沢にはミューズというホールがあります。それから、大宮にはソニックシティということで、それぞれ会員組織みたいな感じでコンサートを電話で申し込めるようになっているんです。和光市はちょっと融通がきかないんですけれども、ウェスタ川越には、すごくその辺期待していたんです。一番合理的にできているのは所沢のミューズだと思うんですけれども、電話１本ですぐ取り置いてくれますし、融通性が非常にあるんです。そういうような形を川越ウェスタでもできないかなと思います。

市長　所沢の事情を私はよくわかりませんけれども、ウェスタ川越のホールは指定管理者にお任せをしています。法律的には市が管理しているんですけれども、現実的に、あるいは経済的には、業務委託みたいな形で管理しているということもございます。そのため一定程度の経済性を考えなければならないという立場の人が管理している関係で、なかなか制約が多くなってしまっているという点がございまして、その辺のところはご理解いただきたいと思います。

《時の鐘の鐘つき人》

意見　川越を英語で歩こう会です。先ほど会の代表が言ったことの中で一つぜひお願いしたいことは、鐘つきの人の確保が大変だと市長さんがおっしゃっていたんですけれども、公募とかどなたかいませんかということで話を出したら人は集まると思うんです。抽選でいっぱい来てしまってどなたかにやっていただくと選ぶのが大変であるかもしれないと思うんです。ですから、ぜひそれは実現していただくように切にお願いします。

市長　ご要望として承らせていただきます。

《初雁球場の改修》

意見　初雁球場あの辺のところで再開発をするというような話を聞いたんですが、その辺の計画はございますか。

市長　再開発ではなくて、初雁公園を100周年の一つの記念事業的な位置づけで改修しようという考えで、今審議会にどういうふうに変えたらいいのかというようなことを検討してもらっているところでございます。その中で初雁球場の部分については、球場をあの場所から移して、そこを公園にするという方向で検討を進めてもらっているところです。球場についてはまだ検討がこれから始まるというところで、どこに出すんだ、場所はどこにするんだとかそういうことはまだ一切決まっておりません。

《ホームページの充実》

意見　広報関係で市のホームページはなかなか便利にできてまして、暮らしとか生活とかいろいろ時々見せていただくんですけれども、もっとホームページを充実していただければいいなと思っています。例えば図書館の利用状況とか、あるいは公民館の利用状況とか。ＰＤＦファイルになって講座とかは広報紙とホームページと２つ出てくるんですが、やはりインターネットでずっと見ている人は、広報紙も見ている人が多い。広報紙は一般的に見ている人が多いので、広報紙の充実が先か、ホームページの充実が先か、そこはちょっと迷うんですけれども、本当は両方とも充実していただきたいなと思います。例えば健康寿命都市日本一を目指すと言ったら、今何位ぐらいなのか、埼玉県は47都道府県で21番目ですと、21番目の中で川越

市は今何位だとか、そういう情報がちょこちょこと出ているんですけれども、もっともっと情報公開をしていただければと思います。もちろん個人情報は別にして、統計的な数字、例えば今川越市の図書館は何冊持っておって、年間何人に貸し出し、冊数は何十万とかそういうふうなデータでも何でもいいんですが、もっともっと広報活動をやっていただければ市民の方に役に立つのではないかなと思います。

市長　ありがとうございます。できるだけご要望に添えるよう検討したいと思います。

《役所の立地》

意見　いろいろな役所が、例えば川越市の法務局が向こうのほうにあるとか、税務署がこっちにあるとか、ワンストップではないんですよね。市のほうである程度方向づけみたいなことはできるんですか。

市長　法務局とか税務署は国の役所でございまして、少なくとも市の要望とか指示とかそういうものの範疇にはない存在なんですよね。もちろん多分移転のときなんか事前にこっちへ移りますよという通知等はあるんでしょうけれども、特に相談を受けるわけでもないし、こちらの要望を聞いてもらえるわけでもないし、何ともある意味ではしようのない部分でございます。

全く新しくつくるまちであれば役所関係を１地区にまとめてしまうとかそういうこともできるんですけれども、川越はきわめて古いもともとあったまちですので、一つの場所にまとめるというのがとても難しい状況でございます。

市長　本日は、皆さん方のほうからさまざまないろいろなご意見を頂戴できまして本当にありがとうございます。

本日は大変ご提案が多くて、新鮮でよかったなというふうにこちらは感じております。もちろんご提案、ご要望をすぐに取り入れられる部分となかなか難しい部分もございますので、その辺のところはご理解いただきたいと思いますが、よいご提案はできるだけ早く実現していきたいというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

本日は本当に夜遅くまでご参加をいだたきましてありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。